

ここが使いやすい!『ON!』のポイント

「はじめよう」「ふかめよう」

『ON!』はコアユニット方式で理解を深める教科書です。

コアユニット

ONGAKUをはじめよう (ON! 1 P.4~11)

1. リズムに乗って
2. メロディーに乗って
3. ハーモニーに乗って
4. 詩と音楽

ONGAKUをふかめよう (ON! 2 P.4~7)

1. さまざまな表現
2. 豊かな声を目指して
3. 言葉と歌
4. 音楽を表現するために

個々の教材の
指導で

1
独立した
教材として

2
教材の
導入、展開に

3
基礎事項の
確認に

コアユニットって?

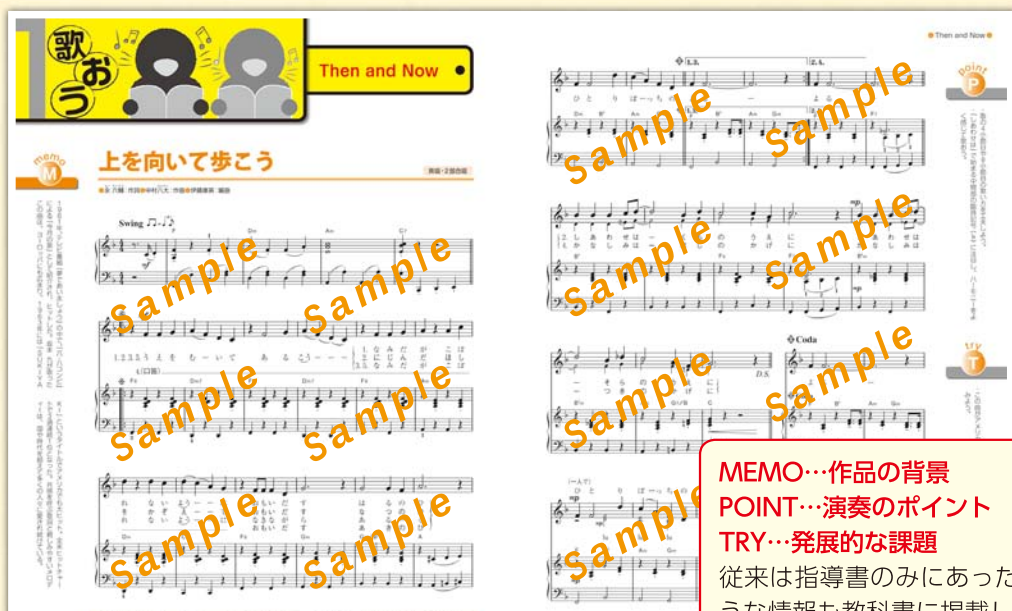
- 基礎基本からスタートして
- 教科書全体にリンクし
- 「音楽を形づくっている要素」を体系的に学ぶことができ、音楽的な感受へつなげます

従来の領域別教材にはなかった、「『音楽を形づくっている要素』を中心に構成した教材」で、ON! 1では「ONGAKUをはじめよう」、ON! 2では「ONGAKUをふかめよう」が用意されています。例えば、ON! 1の「1.リズムに乗って」では、簡単な手拍子から始めて、リズムの学習をしながらリズムとメロディーのアンサンブルに無理なく展開することができます。随所に楽典などの基礎事項を配しており、音楽出版社ならではの、平易かつ専門的な教材と言えます。また、コアユニットは領域別教材にリンクしている、まさに教科書全体の核になる教材でもあります。コアユニットを通じて複数の楽曲を結び付けて学ぶことができたり、個別の楽曲の学習からコアユニットに戻って基礎基本を確認したりすることができます。コアユニットを配置することで、先生方の自由な発想で授業を深めていただくことができ、かつ生徒にも見通しのよい教科書になっています。

! 全体の配列・分量について

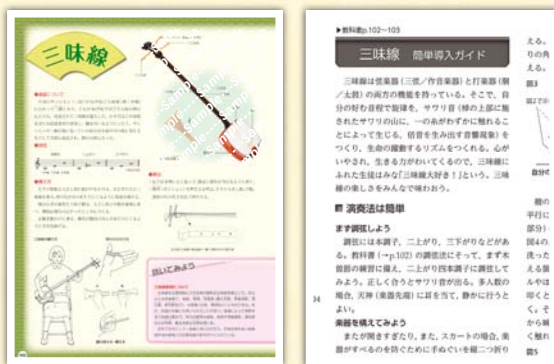
- 歌唱、器楽、鑑賞、創作と**領域ごとの配列**で、楽曲が探しやすい、授業を組み立てる際も便利です。領域内の各楽曲もわかりやすい関連性で配列されています。
- 歌唱、器楽、鑑賞はもちろんのこと、**日本の音楽、多様な音楽文化の理解、創作**もしっかり取り扱い、バランスのとれた構成になっています。
- 見る、読む資料はもちろんのこと、**実践のための譜例**を多く掲載しているので、生徒の**知的好奇心**を刺激し、**自発的な学習**を促します。
- 音楽を形づくる要素の学習(「はじめよう」「ふかめよう」と各楽曲、表現と鑑賞、音楽史と鑑賞曲など、**教材の相互の関連性**を意識して構成されています。

楽譜



MEMO…作品の背景
POINT…演奏のポイント
TRY…発展的な課題
従来は指導書のみにあったような情報も教科書に掲載し、生徒の自主的な学習を促します。

日本の音楽



和楽器(箏、三味線、尺八、篠笛)の奏法、**初期の練習法**は指導書にも詳しく掲載されています (ON! 1)。



簡潔にまとめられた日本音楽史。上下に配置することで**鑑賞教材との関連性**を高めます (ON! 1)。

各分野で、授業で扱いやすい、あるいは社会に出る前に知っておいてほしい楽曲を精選し、あらすじや聴きどころなど詳細を解説。**楽曲中心の構成**にすることによって、**生徒の興味・関心**を喚起します。

西洋音楽の鑑賞



鑑賞のポイントを簡条書きと譜例によって提示。楽曲解説を読み解いていくと、楽曲全体の特質や価値が理解できるようになっています。高度に**洗練された文章**が、今後の**より専門性の高い学習**へと高校生たちを誘います。

西洋音楽史も簡潔にまとめ、鑑賞教材と上下に配置することで、**歴史の前後関係**がわかりやすくなっています (ON! 1)。

創作

たっぷりとページをとりました (『ON! 1』は7頁、『ON! 2』は5頁)。

リズム→メロディー→ベース→ハーモニーなど、**易しく小さな課題を一つずつクリア**していき、大きな曲づくりができるように構成されています。



苦手意識がある生徒も取り組みやすいよう、各プロセスごとに「例」を用意しました。また、**直接書き込めるスペース**も設けました。

音楽と文化・社会・生活



日本の地域社会と音楽、楽器と文化、私たちの身のまわりにある音楽……音楽を**多角的な視点**でとらえた読みごたえのある資料